

令和 7 年度第 1 回三重県教育改革推進会議における協議の概要

1 出された意見

(子どもファースト)

- 高校の退学率や退学後の状況等を分析し、それぞれの高校が生徒のニーズに答えられているかを把握すべきではないか。

(グランドデザイン)

- グランドデザインは、三重県の教育がどこを目指しているのかが分かるようなものとすべきではないか。

(県立高等学校の特色化・魅力化)

- 私立高校は特色化・魅力化に向けて熱心に取り組んでいる。公立高校も、普通科における専門コースの充実や総合学科の設置など特色化・魅力化が必要ではないか。
- 全県立高校を単位制にして行き来できる仕組みを検討するなど、三重県を象徴する学校づくりを進めてはどうか。

(私立高等学校との関係)

- 今後、私立高校の授業料が実質無償化されることを踏まえ、官民の役割分担という視点から、県立高校は、高額な設備を要する専門的な学びや、交通が不便で生徒が集まりにくい地域における学びなど民間では提供が困難な学びの提供に注力してはどうか。

(学校規模の考え方)

- 通学範囲などを考慮すると、小規模校であっても統廃合を行わないという選択が必要になる場合があるのではないかと。その上で、小規模校であっても、学びの選択肢や多様な価値観に触れる環境を提供できる仕組みを検討してほしい。
- 小学校の統廃合において、コミュニティ・スクールでの議論が重要な役割を担ったことがある。高校においても、コミュニティ・スクールを活用してはどうか。

2 推進会議からの指示事項

(今後の進め方)

- 今後答申をまとめるため、答申の部会案を示してほしい。